

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4963857号
(P4963857)

(45) 発行日 平成24年6月27日 (2012. 6. 27)

(24) 登録日 平成24年4月6日 (2012. 4. 6)

(51) Int. Cl.	F 1	
A 4 7 F 5/11 (2006. 01)	A 4 7 F 5/11	
A 4 7 F 5/10 (2006. 01)	A 4 7 F 5/10	A
A 4 7 F 7/00 (2006. 01)	A 4 7 F 7/00	L

請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2006-110843 (P2006-110843)	(73) 特許権者	000115980
(22) 出願日	平成18年4月13日 (2006. 4. 13)		レンゴー株式会社
(65) 公開番号	特開2007-282708 (P2007-282708A)		大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号
(43) 公開日	平成19年11月1日 (2007. 11. 1)	(74) 代理人	100074206
審査請求日	平成21年2月26日 (2009. 2. 26)		弁理士 鎌田 文二
		(74) 代理人	100087538
			弁理士 鳥居 和久
		(74) 代理人	100112575
			弁理士 田川 孝由
		(74) 代理人	100084858
			弁理士 東尾 正博
		(72) 発明者	田邊 航平
			東京都港区港南2丁目16番1号 レンゴー株式会社東京本社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商品陳列具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板(1)の前面に複数段の棚枠(2)を設けた商品陳列具において、各棚枠(2)は、上下の外面板(3,4)、背面板(5,6)及び中間板(7)を連設すると共に、外面板(4)の側縁に弧状罫線を介して側面板(8)を連設し、上方となる外面板(3)及び中間板(7)に商品挿入口(10,11)を設け、中間板(7)の商品挿入口(11)の一端に受止片(12)を連設し、外面板(3,4)と背面板(5,6)とを筒状に曲げて中間板(7)を巻き込み、外面板(3,4)を湾曲させつつ、側面板(8)を押し込むように閉じて保形し、背面板(5)を基板(1)に貼り付け、商品(C)を商品挿入口(10,11)に挿入すると、受止片(12)が商品(C)により押し下げられ、受止片(12)の先端が下方の外面板(4)に、中間板(7)の先端が外面板(3,4)の稜部にそれぞれ当接する構成とし、側面板(8)を開いた状態では、棚枠(2)を上方へ倒して扁平に変形できるようにしたことを特徴とする商品陳列具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、複数段の棚枠で商品を保持して陳列する陳列具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

例えば、薬局・薬店等において、化粧品等のチューブ入り商品の陳列に使用する陳列具として、下記特許文献1には、基板の前面に複数段の棚枠を設け、各棚枠は、三角筒状と

し、その上面及び前部斜面に商品挿入口を設けたものが記載されている。

【0003】

【特許文献1】特許第3002401号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、上記のような陳列具では、小売店への配送時に、棚枠を折り畳んでおくことができないため、嵩張って取り扱いにくく、また、店頭での陳列状態において、棚枠が角張っているため、武骨な印象を与えるという問題がある。

【0005】

そこで、この発明は、コンパクトに折り畳むことができ、店頭で簡単に組み立てて、柔らかいイメージの陳列ができる商品陳列具を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するため、この発明は、基板の前面に複数段の棚枠を設けた商品陳列具において、各棚枠は、上下の外面板、背面板及び中間板を連設すると共に、外面板の側縁に弧状野線を介して側面板を連設し、上方となる外面板及び中間板に商品挿入口を設け、中間板の商品挿入口の一端に受止片を連設し、外面板と背面板とを筒状に曲げて中間板を巻き込み、外面板を湾曲させつつ、側面板を押し込むように閉じて保形し、背面板を基板に貼り付け、商品を商品挿入口に挿入すると、受止片が商品により押し下げられ、受止片の先端が下方の外面板に、中間板の先端が外面板の稜部にそれぞれ当接する構成とし、側面板を開いた状態では、棚枠を上方へ倒して扁平に変形できるようにしたのである。

【発明の効果】

【0007】

この商品陳列具では、側面板を開いて、棚枠を扁平に変形させ、コンパクトに折り畳んだ状態で小売店に配送することができ、その状態から側面板を押し込むだけで、店頭で迅速に組み立てて商品を陳列することができる。

【0008】

また、陳列状態では、外面板が湾曲しているので、商品に応じた柔らかいイメージを与えることができ、外面板に折畳時の折目が入ることもないので、美観に優れた陳列とすることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

まず、この発明の実施形態を図1乃至図4に基づいて説明する。

【0010】

図1に示すように、この陳列具は、化粧品等のチューブ入り商品の陳列に使用するものであり、基板1に上下二段の棚枠2を設けた構成とされている。基板1は、板紙を貼り合わせた合紙から成り、棚枠2は、板紙のブランクを折り曲げて組み立てられる。

【0011】

図2に示す棚枠2のブランクでは、外面板3の前端に外面板4及び背面板5が順次連設され、外面板3の後端に背面板6及び中間板7が順次連設されている。外面板4及び中間板7の両側には先端が弧状縁となった側面板8、9がそれぞれ連設され、側面板8の基端野線は弧状とされている。側面板8の先端縁には、指掛用の切欠が設けられている。

【0012】

外面板3及び中間板7には、それぞれ3個の商品挿入口10、11が設けられ、中間板7の商品挿入口11の一端には、受止片12が設けられている。

【0013】

このブランクの組み立てに際しては、図3に示すように、外面板3、4と背面板5、6とを筒状に曲げて中間板7を巻き込み、背面板5、6を貼り合わせ、外面板3、4を湾曲させつつ、側面板8、9を押し込むように閉じて保形する。

【0014】

このように組み立てた棚枠2は、図1に示すように、基板1の前面に背面板5を貼着して上下に2個配置する。このとき、基板1に貼着位置を予めマークしておく、棚枠2を基板1の所定位置に容易に取り付けられる。

【0015】

そして、この陳列具を店頭で使用する際には、基板1を、その上部に設けた紐穴1aに紐Sを挿通して吊り下げ、チューブ入り商品Cを商品挿入口10、11に挿入する。

【0016】

このとき、図1及び図3に示すように、受止片12が商品Cのキャップの下端により押し下げられ、受止片12の先端が外面板4に、中間板7の先端が外面板3、4の稜部にそれぞれ当接し、棚枠2の形状は堅固に維持される。

10

【0017】

上記のような陳列状態では、外面板3、4が湾曲しているので、商品Cに応じた柔らかいイメージを消費者に与えることができる。

【0018】

また、この陳列具は、小売店に配送する際、図4に示すように、側面板8、9を外側へ開くと、棚枠2を上方へ倒して扁平に変形することにより、コンパクトに折り畳むことができるので、効率よく配送することができる。

【0019】

また、このように折り畳んでも、外面板3、4に稜線以外の折目が入らないので、陳列状態での美観が低下することがない。

20

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】この発明に係る陳列具の実施形態を示す斜視図

【図2】同上の棚枠のブランクを示す図

【図3】同上の棚枠の基板への取付状態を示す縦断側面図

【図4】同上の陳列具の折畳状態を示す斜視図

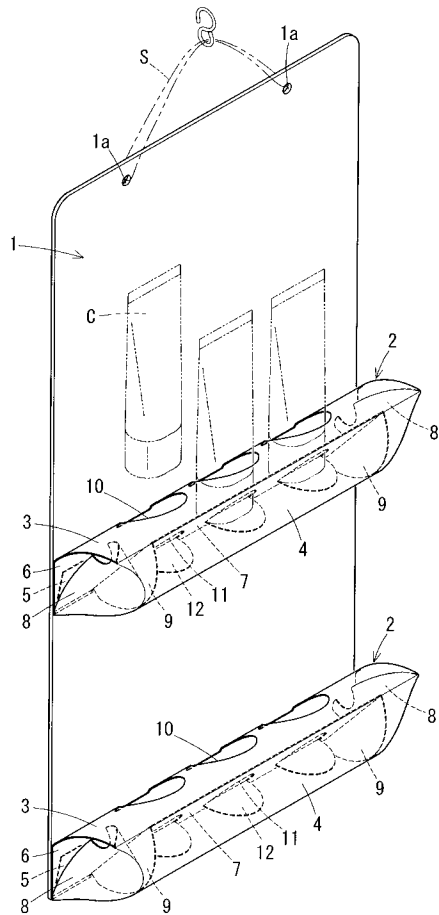
【符号の説明】

【0021】

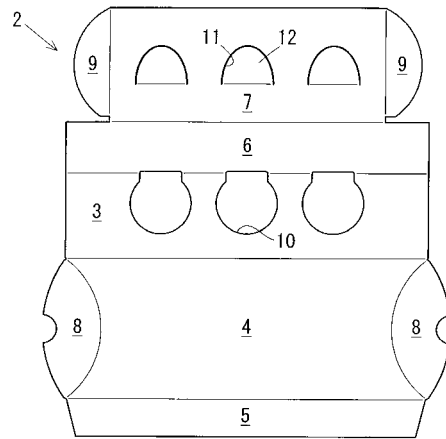
- 1 基板
- 2 棚枠
- 3, 4 外面板
- 5, 6 背面板
- 7 中間板
- 8, 9 側面板
- 10, 11 商品挿入口
- 12 受止片

30

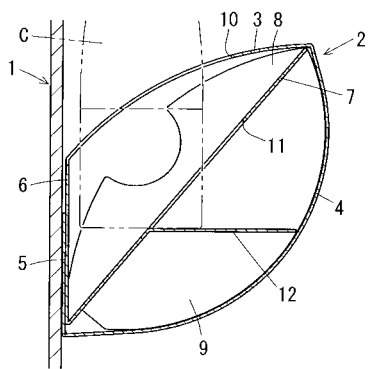
【図 1】



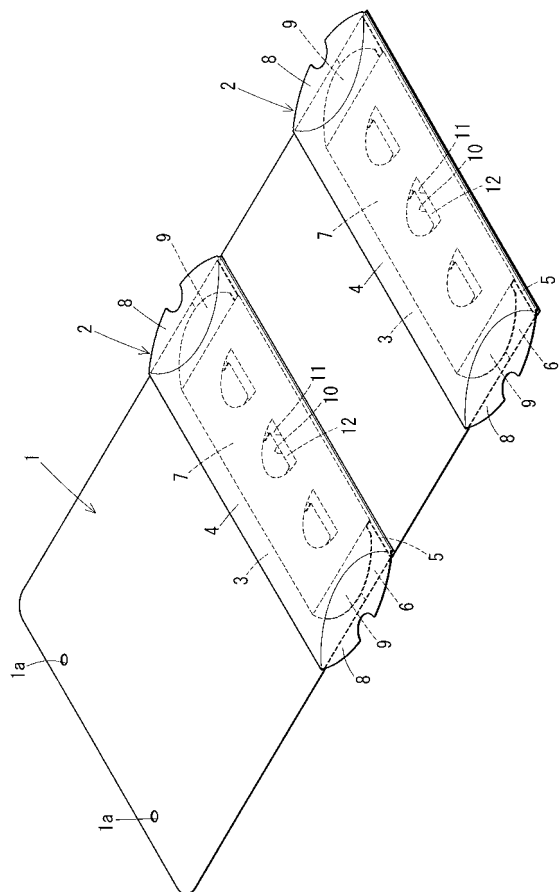
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

審査官 柳本 陽征

(56)参考文献 特開2000-300405 (JP, A)
実開昭55-148089 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A47F 5/11
A47F 5/10
A47F 7/00